

令和3年度和光市立下新倉小学校 第4回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和4年3月14日(月) 13:30~17:00

2 場 所 和光市下新倉小学校 第一会議室

3 出席者 山崎 すみ子 柳下 澄江 村山 敦子 安藤 泰邦
福田 由佳 渡辺 千春 藤原 啓 高橋 郁美

4 協議内容

(1) 3学期の教育活動状況について

- ①2月21日(月)に研究発表会をWEBで行った。新型コロナウイルスまん延防止措置期間中のため、このような形となった。
- ②給食は本校の施設を生かして、分散給食を行ってきた。
- ③ICT教育の取組を継続して行ってきた。1月28日(金)には、「第2回リモートの日」での市議会の視察が予定されていたが、新型コロナ感染症の感染拡大のため中止となったが、本校の取組が注目されていることである。2月18日、3月11日にも「リモートの日」を実施した。
- ④3月9日(水)にエバリーという団体から2名来校し、ピアノとバイオリンのコンサートを実施することができた。

(2) 学校評価について

- ①校長より、今年度行ってきた4つの重点事項と第一次学校評価についての説明。
 - ・さくら連絡網でのアンケートを実施したことで多くの保護者からの回答が得られた。
 - ・どの項目も好意的な回答となっているが、「分からない」と回答した方が全体の2割程度となっている項目もあるので、これからは学校の教育活動についてわかりやすく発信していくことが課題となる。
- ②学校運営協議会委員による学校関係者評価について
 - ・コロナ禍ではあるが、ICT教育に取り組み、タブレット端末を利用した教育活動に大きな成果があった。全教職員の努力に感謝する。
 - ・規律ある態度の育成について自己肯定感、自己有用感を子供の成長過程にあった形でこれからも育成して行ってほしい。
 - ・健康・体力の向上については、コロナ禍で体育の授業で制限されたことも多い中工夫して取り組んでいた。また、安も時間でも子供が外遊びをしようとする気持ちを引き出そうと様々な取組を行っていたようだが、そのことについて積極的な発信がなかった。発信の方法を工夫してほしい。
 - ・下新倉分館との連携が進んだことが素晴らしい。コロナ禍で保護者の参画が難しかった。学校運営協議会の取組について可視化が必要。
- ③教職員のストレスチェックの結果について
 - 負担感の軽減により、さらによい職場環境となっている。

(3) その他

子ども達の成長過程における様々な課題解決に向けた学校と家庭、地域の連携について

5 あいさつ

校長より

学校評価について活発にご意見を出し話し合いをしていただき、好意的な評価もたくさんいただきました。一年間ご協力くださりましてありがとうございました。